



JA いわて花巻 冬の交流

2018年12月1(土)～2(日)岩手県花巻市東和町に行ってきました。本日のお宿「フォルクローロ花巻東和」到着後、まずはカントリーエレベーター見学へ。貯蔵された玄米と検査の様子再現を見ました。その後、しめ縄作り体験開始！初挑戦の方がほとんどでしたが、皆さん上手でゴージャスなしめ縄ができました！



続いて水車小屋、江戸中期に建てられた茅葺屋根の民家

「国指定重要文化財・旧小原家住宅」を見学。かつて暮らしていた方から貴重なお話を聞き、昔の農家の暮らしを感じました。



そしていよいよ交流会の始まりです！小山田美女会（女性生産者）の方々特製の美味しい料理が所せましと並べられ、更に外では寒空の下大きな釜に炊きたてのお米（春、夏、秋の交流で育てたもの）、牛肉でバーベキュー。素材はもちろん生産者の方々が心を込めて育てたものです。どれもおいしいのに食べきれず、申し訳ない気持ちに。もちろん貴重なお話も聴くことができました。次の日は宮沢賢治ゆかりの地めぐり。「クラシック音楽を聴かせて作った味噌」で有名？な佐々長醸造を見学＆買物し、交流田を見学した後、宮沢賢治記念



館と宮沢賢治童話村へ。童話村では職員さんが「セロ弾きのゴーシュ」の紙芝居を読んで下さいました。昼食は賢治ゆかりの店で彼が好んで食べた「天ぷらそばとサイダー」を実食。それぞれの「ゆかりの地」で、童話作家・詩人以外の賢治の顔を知り、改めてすごい人だったと感じました。その後「産直あすこ」で買物をし、2日間の花巻交流が終了しました。JAいわて花巻の方々の心づくしのおもてなしに感謝の言葉もございません。本当にありがとうございました。(YK)



甲状腺エコー検診

12月8日、横浜南センターで子どもの「甲状腺エコー検診」をしてきました。

東京電力福島第一原発事故以来、甲状腺の病気が気になっています。放射線による健康被害です。福島に住んでいなくても関東地方にも風に乗って放射能が運ばれてきていました。震災当時、外に出ていたことや放射線量が家の近くで少し高かったこともあり、影響がなければよいと思い、毎年検診を受けています。幸い、何事もない結果が出ており安心してしています。

検査の方法はとても簡単。甲状腺のある首のところにゼリーを塗り、機械を当てて状態を確認するだけです。全く痛くもかゆくもありません。検査時間もたった数分です。一年生の我が子も平気で毎年受けています。安心のためにも来年も行きたいと思います。(CN)



センター長のつぶやき

年明けより『パルシステムでんき』キャンペーンが始まりました。持続可能な未来づくりには、エネルギーの選択が大変重要なことであり、世界がこの課題に向き合っていますが、日本は他の先進国に比べて、再生可能エネルギーの普及率が非常に低い現状にあります。これに対しての国策としてFIT制度が出来ましたが、「何故、切り替えが必要なのか？」という働き掛けが不足していると感じています。

キャンペーン期間中は、チラシ配布やお声掛けを行っています。まずは、中身を知っていただけるよう取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。

☆編集後記☆ 横須賀エリアでは、2年続けてJAいわて花巻と交流を続けてきました。産地に行って美味しいものをいただいたり、田んぼの農作業の大変さを実感したり、花巻の方たちと楽しい時間を過ごしてきました。次の交流は横須賀で花巻料理教室を開催し、美味しい料理を教えてください。楽しみ♪(CN)



★12月リユースビン回収率★

供給量：7433本／回収量：3283本
回収率：44.2%